

ひろしま木育アカデミー2023 第6回 開催報告

ひろしま木育アカデミー2023 第6回実践編－木育プログラムを作ってみよう－を9月23日（土）に広島大学東広島キャンパス教育学部木材加工実習室にて開催しました。

はじめに、「木育を実践するためには」として、企画・準備、実施、振り返りまでの全体の流れ、木育の内容（ステップ）、今回作成する木育プログラムについて木村よりお話ししました。木育の内容では、木育の進め方を実践方法・場所と「触れる」「創る」「知る」のステップ（NPO法人活木活木森ネットワークが作成）を対応させながら解説しました。今回作成する木育プログラムは「ひろしま木育フェス2023－広島の木と森に触れて!知って!体験しよう!－」にて、一般の方を対象に実践するものとし、場所や予算、使用できるものなどの条件を説明しました。

次に、「木育プログラムを作ってみよう」として、前述の条件を踏まえた木育プログラムをグループで考えました。「あそぶ・つくる・知る」の中からテーマを1つ選び、主な対象、所要時間、実施場所、プログラムを通して参加者に気づいてほしい・知ってほしい・理解してほしい・身につけてほしいこと、プログラムのねらい（プログラムによって実現しようとする）を検討した後、内容、使用する物品、流れを具体的に考えました。その中で、様々な樹種の木片や市販の木のおもちゃ、製作品の例などを実際に触り、専門家の話を聞く場、試しに作ってみる場を設けました。



最後に、各グループが考えた木育プログラムの発表会を行いました。2つのグループが考えたプログラムは共に「つくる」をテーマとし、木の香りや肌触り、見た目の違いを感じ、広島県の里山にある身近な木を使ったキーホルダーづくり、木目や木の香り、肌触りを感じることができるパズルづくりの木育プログラムとなりました。



6回目の実践編は、第1～5回で学んできたことを踏まえ、知識・経験をアウトプットする場、木育の担い手になるための第1歩の場を設けることを想定し、企画しました。1つのプログラムをつくるプロセス、作り上げることの難しさとおもしろさを体験する機会になったのではないかと思います。

（文責：木育普及委員会 副代表 木村 彰孝）